

# パンタナール通信

南北米福地開発協会 会報 2004年6月1日発行 第9号

心のふれあいを求めて



2003年度ディアナにて  
小学校建設(12名参加)

第五回国際協力青年ボランティア隊  
八月二四日パンタナールへ出発

第四回ボランティア活動に参加して。

「現地の船(アキタパン)の中での生活は想像を絶するものでした。普通のいわゆる客船みたいなものを考えていたので舟に入った瞬間、度肝を抜かされました。舟の中の地べたに薄いシートをしていて寝ているお母さんと赤ちゃん、今にも抜けそうな階段、トイレも匂いがひどくてとても入る気にならない不衛生極まりないものでした。ディアナの村での経験も決して忘れられないものとなりました。ボロボロでヒリヒリのシャツに髪はぐしゃぐしゃで裸足の子供達、雨が降ったら家中がびしょびしょになるスカスカな屋根、必死になって物を売ろうとしている歯がぼろぼろのお母さん。小学校に通う子供達もノートを全て使い切ったり、鉛筆もなくならしたらその時点でお金がないので事実上の退学、大学進学率も0%、小学校さえも行けない子供が三割ほど、もう此処に希望は全くなーいと言つぐらゐの悲惨な村でした。こんな光景を見ながら誰がどのように選ばれて日本、アメリカのような先進国に生まれて豊かな生活ができる「資格」があるのか・そんな事を考えてしまいました。本当に貧しい人たちに接しながら改めて自分に恵まれた環境にいるんだなあと言う事を実感したと同時に、人生を中途半端に生きてはいけないと感じました。それにしてもあの子供達の笑顔は今でも脳裏に焼きついています。東森孝勝(大学生)



六月度研修会案内 二日研修会 六月十九日～二十日  
国際協力青年ボランティア参加者募集中  
二〇〇四年八月二四日～九月一四日 詳細は事務局までお尋ね下さい。

南北米福地開発協会事務局

〒一五〇〇〇〇一東京都渋谷区神宮前六一一九一四

神宮前ハッピービル十階

電話(〇三)五七七四一〇五四四

ファックス(〇三)三四〇七〇一四五



第3回エコツアー報告  
 (二〇〇四年四月二十二日―五月七日)



第四回パンタナールエコツアー、今夏も予定しています。



民芸品の製作を学ぶ

第三回(二〇〇二年)エスプランサ



現地小学校の先生と子供達とともに

第一回(二〇〇〇年)ポケロン

国際協力青年ボランティアの歩み  
 (二〇〇〇年―二〇〇三年)(第一回―第四回)



新しい校舎

第四回(二〇〇三年)

ディアナ



(子供達の輝く顔に感動)

(奉納を通じて感謝を伝える)

(現地の昼食)

(伝統舞をみて踊りを披露)

文化交流(心のふれあい)



旧校舎の前で

SEP 1 2005

